
もよもとの憂鬱

青木弘樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もよもとの憂鬱

【Nコード】

N69470

【作者名】

青木弘樹

【あらすじ】

これは小説ではありません。
小説もいくつか書いているので
観ていただけたら幸いです。

作：青木弘樹

こんにちは。もよもとです。嘘です（笑）。
ちよつといろいろ考えて、思ったことを書いてみました。
というわけで、これは小説ではありません。小説もいくつか書いて
いるので見ていただけたら、こんなうれしいことはない（アムロ）
。というわけです（意味不明）。
とりあえずシャアが好きです。あ、あとカイも。なんとなくヤザン
も好きです。
では…。

人間というのは、誰でも何かしらに依存して生きていますね。依存
という言い方は、あるいは趣味だとか、生き甲斐だとか、やりがい
だとか、オタクだとか、言葉が変わったりするわけですが、とにかく
人間は無駄に膨れ上がった脳みそを持っているために、他の動物
のように「食欲」「睡眠欲」「性欲」だけで満足する生き物ではあ
りません。

依存（趣味など）は人それぞれです。それこそ無数にあります。

車だったり、釣りだったり、漫画だったり、ゲームだったり、小説
だったり、アイドルだったり、旅行だったり、ガンプラだったり、
占いだったり、宗教だったり、ラジバンダリ（ふるっ）。

まあ、とにかく刺激や好奇心を満たす「どうぐ」が必要です。

宗教にハマる人も、あるミュージシャンに狂信的になるのも、広い
意味では一緒かもしれません。

アルコールや煙草に異常に依存したり、覚せい剤に依存したりする

のは命にもかかわるので、避けたい所ではありません。

ちなみに僕は映画が好きです。

ハリウッド映画をよく観ますが、レンタルしてきて観て面白かったら、DVDを買います。

幸い、ハリウッド映画のDVDは新品でも安いし、一年もすればさらに安くなるので、そんなにお金はかかりません。

日本の映画（DVD）は高いですよねえ。

いやー、それにしてもガンダムは面白い。といってもファーストガンダムがダントツで好きなんですけど、最近ユニコーンも気になります。

ゲームはなんといってもドラクエが面白い。

ドラクエには皆さん共通の思い出が数多くありますね。

まず、すぐ消える冒険の書。もはや伝説です。そして伝説へ…です。「ゆうべはお楽しみでしたね」なんとハレンチな！（Zガンダム参照）。

ロンダルキアへの洞窟。オニ難しい。作った人はDSなのか！？

「さようなら。旅の人…」宿屋の主人の冷たいセリフ。

カンダタ「オルテガ（ファミコン）。ポカパマズ「オルテガ。

行列のできる発売日。ああ…あの頃はよかった。まあ、僕は徹夜で並んだりはしてませんが。

とにかく、ドラクエは面白かった。

もし「ドラクエ狩り」にあった人がいましたら、心よりお悔やみ申し上げます。

ゲームといえば、ファミコンは伝説を越えて、まもなく神話になりそうです。

とはいえ、ファミコンカセットはまだまだ売られていますし、かつてのファミコンフリークはファミコン信者となり、未だファミコン

で遊んでますよね。

アトランチスの謎、たけしの挑戦状、星をみるひと、アストロロボ
ササ、スーパーアラビアン、スーパーモンキー大冒険…え？クソゲ
ーばかり書くなって？

いやだなあ、クソゲーこそ、愛すべき存在。そう思いませんか？え
？思わない？

なるほど、キーワードは「犯人はヤス」というわけですね。
ちなみにスペランカーはクソゲーではありません。

ツインファミコンは、いつか必ず手に入れようと考えています。

さて、話はガラリと変わって、突然ではありますが「ポジティブ」
と「ネガティブ」について書かせていただきます。

一般的にポジティブは正しく、ネガティブは間違っていると思われ
がちですが、必ずしもそうではありません。

確かにポジティブな人は、前向きで積極的で良いように見えますが、
時には勢いだけで突っ走り、失敗することも多々あります。また反
省をしない人も多いです。

ネガティブな人は、消極的ではあっても、慎重に物事を考えるので、
失敗しても傷が浅かったりします。

まあ要するにどちらにも、良い所があれば悪い所もある、というこ
とです。

バランスよく両方の気持ちを持っている人が、一番いいかと思われ
ます。

腹八分目、足るを知る、まあそういうことです。

大きすぎても小さすぎても駄目、バランスが大事ということですね。

今の日本は、いい国だと思います。

いろいろ便利だし、なんでも安いし。

車なんて50万円も出せば普通にいい車に乗れるし、テレビも安い
よね。

昔ビデオデッキに7万円も出していた時代が信じられない。今はDVDデッキが5千円で買える。

日本で唯一高いと感じるのは不動産だけです。

そりゃあ何にしても高いものを探せばあるけど、そんなのは無視すればいい。

あ、そうそう。税金は高い。

無能な政府にたくさん税金取られて、ほんと腹立つね。

とまあ、いろいろ書いてきましたが、まとめると「あたらなければ、どうということはない」ということです。もしくは「誰もひとりでは、生きられない」なのかもしれません。

人生の冒険の書が消えないように、これからも頑張りたいと思います。

それでは皆さん、また会いましょう

(後書き)

ありがとうございました。

小説も書いてます。

よろしく願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6947o/>

もよもとの憂鬱

2010年11月12日18時22分発行